SAR衛星を活用した地盤変動解析

・広範囲を観測可能な衛星データを解析し、長期間にわたる広域の微小な地盤変動箇所を抽出
・災害発生前にインフラ障害のリスクを早期に検出し、専門家による要点検箇所を抽出することが可能
・河川堤防、ビル、橋梁やダムなどのインフラの変位検出や土木工事、資源採掘の周辺影響評価も可能

法人･団体名	三菱電機株式会社
サービス概要	SAR時系列解析は、レーダー（SAR）衛星画像から地表面変動の経年変化や最新状況を把握する技術です。本技術を適用することで、長期間にわたって徐々に進行する広域の微小な地盤変動などを検出します。これにより、これまでは目視で実施していたインフラの障害リスク箇所を早期に検出し、災害発生前に専門家による精密検査と対策を効率的に実施することが可能になります。本技術は地盤変動だけでなく、河川堤防、橋梁、ビルやダムなどのインフラ検出、さらに土木工事や資源採掘による周辺影響調査など、幅広い用途に適用可能です。
主なユーザー	建設業界、政府･自治体(防災･減災機関）、鉱業･エネルギー業界、保険会社、不動産業界
活用される衛星	･SAR衛星（例. ALOS-2, ALOS-4）
URL	https://www.mitsubishielectric.co.jp/society/space/solution/disaster_monitoring/#s2-1

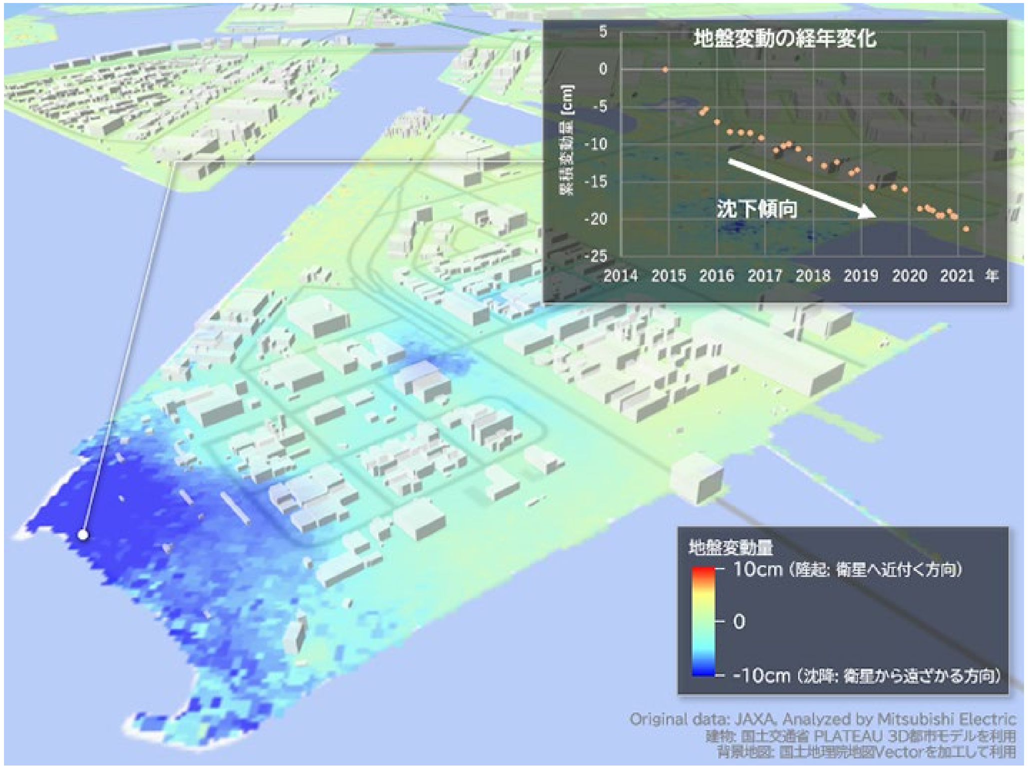

図. 広域の地盤変位量解析（埋立地の地盤変位を捉えている）